

名古屋ものづくりワールド2017

“第1回 名古屋 航空・宇宙機器 開発展” 参加報告

2017年4月12日（水）～4月14日（金）に、名古屋市国際展示場“ポートメッセなごや”で開催された“第1回 名古屋 航空・宇宙機器 開発展”に参加し、展示会の状況を調査するとともに、次回のJA等に向け参考とする機会を得たので報告する。

1. 第1回 名古屋 航空・宇宙機器開発展について



本展示会は、“名古屋ものづくりワールド2017”の一部として、以下の4つの展示会と同時に開催された。

第1回 名古屋 航空・宇宙機器 開発展

第2回 名古屋 機械要素技術展

第2回 名古屋 設計・製造ソリューション展

第1回 名古屋 工場設備・備品展

この展示会は、民間企業であるリード・エクジビジョン・ジャパン(株)により主催・運営された。リード・エクジビジョン・ジャパン(株)は東京・大阪でも同様の機械要素技術展を主催・運営している。

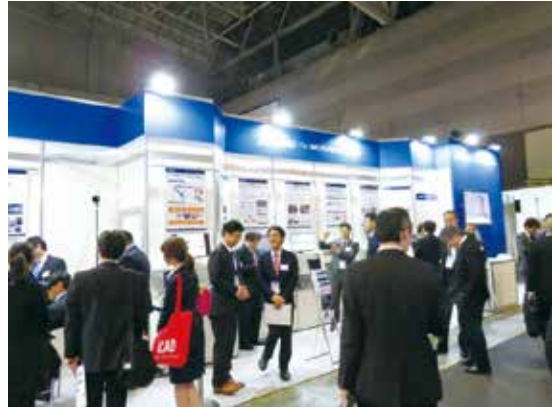
2. 展示会について

今回の“名古屋ものづくりワールド2017”の展示会場は、“ポートメッセなごや”の第1

展示館（13,870㎡）、第2展示館（6,576㎡）及び第3展示館（13,500㎡）の全ての展示場（計33,946㎡）を使用して開催された。2012年に同会場を使用して開催されたJA2012は、第1展示館と第3展示館のみを使用していたので、今回の4つの展示会はJA2012に比べ展示面積では大きな展示会である。その中で“第1回 名古屋 航空・宇宙機器 開発展”は、第3展示館の一部を使用し、約100社・団体が出展していた。

“第1回 名古屋 航空・宇宙機器 開発展”における展示物は、航空・宇宙機器メーカー向けの下記製品、技術に関するものが中心である。

- ・加工技術、表面処理
- ・電子部品、電源
- ・溶接、レーザー技術
- ・駆動部品、モータ
- ・制御機器
- ・ねじ、ボルト
- ・機構部品
- ・高機能材料、先端複合材
- ・計測機器、センサ
- ・工場設備、備品
- ・試験装置、シミュレータ
- ・加工機、工具
- ・CAD、CAM
- ・通信技術



“航空・宇宙機器開発展” 出展社



開会式



テープカット参加者

また、4展示会開催に先立ち、展示会場交流センター1階のエントランスホールにおいて、河村名古屋市長、愛知県選出の国会議員、中部地域のユーザー企業幹部及び主催者によ

る、4展示会合同の開会式が盛大に行われた。今回の“名古屋ものづくりワールド2017”の、出展社・来場者などに関する記録は、以下のとおり。

出展者・来場者等の概要

項目	内訳	数値
出 展 者	名古屋ものづくりワールド全体 (注1)	979社・団体
	上記の内、航空・宇宙機器 開発展 (注2)	約100社・団体
来 場 者	名古屋ものづくりワールド (3日間) 合計 (注3)	34,573人
セミナー受講者	名古屋ものづくりワールド (3日間) 合計 (注3)	8,225人
報 道 関 係 者	名古屋ものづくりワールド (3日間) 合計 (注3)	95人

注1：“名古屋ものづくりワールド”HPより

注2：会場案内図から航空・宇宙機器 開発展の展示エリア出展者数を積算

注3：“来場者数 速報”（主催者発表）より

3. 基調・特別講演、専門セミナー

第3展示館基調・特別講演会場において“基調講演、特別講演”が、第1展示館製品・技術PRセミナー会場において“出展社によるPRセミナー”が、また、イベント館会議室において“専門セミナー”が行われた。

航空機に関しては、会期初日の特別講演では、“官民のキーパーソンが語る、航空機業界の展望”と題して、以下の講演が行われた。

①航空機産業の今後の展望と経済産業省の施策について

経済産業省 製造産業局

航空機武器宇宙産業課

航空機部品・素材産業室

室長 北廣 雅之

②川崎重工業における航空機製造

～現状と今後の展望～

川崎重工業(株)

代表取締役副社長 石川 主典

基調・特別講演会場は約1,200名が入る会場であったが、別棟のイベント館にも特別講演を中継するサテライト会場が設けられ、講演会場、サテライト会場ともに7割以上の聴講者があって、航空機産業に対する関心の高さが感じられた。

4. 所見

(1) 展示会について

今回の“第1回 名古屋 航空・宇宙機器 開発展”は、航空機産業の製造拠点が集中する名古屋と実際に航空機部品などを製造しているメーカーに焦点を当てた展示会となっており、これに伴い展示物も具体的な工具、製造技術や設計・製造ソリューションなどに関する展示が多かった。このためかJA2016では目立ったクラスターによる出展は、

「SUSANOO」特殊鋼加工クラスター以外には見受けられなかった。

また、出展社は日本企業を中心としており、海外企業出展社は多くなかったものの、同時開催の機械要素技術展にはタイパビリオン、台湾パビリオンの他、中国企業の出展があった。

JAのように完成機メーカーの出展や全国のクラスターの出展などに焦点を当てた展示会とは異なり、名古屋で部品・機器などを製造しているメーカーを主な対象とした工作機械、工具、設計・製造ソリューションの展示会となっていたように感じた。

(2) その他



レゴランド・ジャパン

“ポートメッセなごや”の横には、今年4月に開場した“レゴランド・ジャパン”があり、展示会場の最寄の駅である“あおなみ線”金城ふ頭駅に向かう電車の中には、平日にもかかわらず子供連れの乗客が多く見られた。

さらに、“ポートメッセなごや”にも老朽化に伴う改築計画があるということであり、名古屋市による臨海部の再開発が今後進められることを期待したい。

〔(一社)日本航空宇宙工業会 国際航空宇宙展事務局 部長 長井 利幸〕